

平成23年度「妊産婦に関する調査」結果報告

1. 回答状況

平成 23 年度「妊産婦に関する調査」においては調査対象者を、①平成 22 年 8 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日までに県内で母子健康手帳を交付された方、②その期間内に県外で母子健康手帳を交付され、震災後県内で妊婦健診や分娩をされた方とした。

平成 24 年 1 月中旬に調査票 15,954 件を送付し、平成 24 年 8 月 31 日までに 9,266 件(58.1%)の回答が得られた。

2. 支援状況

回答のあった 9,266 件のうち、重複や非該当 38 件を除く 9,228 件について、回答内容から支援が必要と思われる方 1,393 人(うつ項目該当者 1,213 人、自由記載欄に支援要望のあった方 180 人)に対し、助産師、保健師等による電話支援を行った。また、メールによる支援体制を整え、13 件のメール相談を受けつけた。

電話支援の詳細(相談内容)

放射能に関すること	411
母親自身に関すること	280
育児に関すること	195
児に関すること	147
避難に関すること	132
家庭生活に関すること	70
特になし	296
不明・その他	206
計	1,737

重複あり

支援終了理由

傾聴によって終了	1,054
不在終了	172
既に受診・相談先あり	153
Q&A 対応にて終了	144
情報提供にて終了	97
受診勧奨にて終了	61
拒絶	26
連絡先不明	18
放射線健康相談チームへ対応依頼	7
こころのケアチームへ対応依頼	5
市町村へ育児支援依頼	4
専門医へ対応依頼	2
計	1,743

重複あり

3. 調査の主な集計・分析

※平成 24 年 8 月 31 日までの回答の内、下記の分析に関してのデータクリーニングが終了した 9,200 件を分析した。

(1) 震災が受診・ケアに及ぼす影響を示す項目の集計

① 調査票 問 4、問 5、問 9、問 14 の単純集計結果

問 4 震災後の妊産婦健康診査(以下妊婦健診)の受診状況について、当初より妊婦健診・分娩を予定していた施設でその後も妊婦健診・分娩を継続しましたか

回答 有効回答数 n=8,925 人(無回答 275 人)

1:いいえ 2,201 人(24.7%) 2:はい 6,724 人(75.3%)

問 4-1 上記で「いいえ」と回答された方は、どのようにされましたか(無回答 109 人)

自分で県内別施設へ変更した 612 人

自分で県外別施設へ変更した 1,148 人

震災前から県内の別施設に里帰り受診していた 32 人

震災前から県外の別施設に里帰り受診していた 45 人

医学的理由により県内別施設へ移動を指示(または搬送)された 293 人

医学的理由により県外別施設へ移動を指示(または搬送)された 31 人(複数回答あり)

問 5 妊婦健診が予定通り受診できましたか

回答 有効回答数 n=8,941 人(無回答 259 人)

1:いいえ 1,661 人(18.6%) 2:はい 7,280 人(81.4%)

問 5-1 上記で「いいえ」と回答された方は、どのようにされましたか(無回答 35 人(2.1%))

予定通りに受診できなかったため、入院を必要とした 171 人(10.3%)

予定通りに受診できなかったが、妊娠経過に問題はなかった 1,455 人(87.6%)

問 9 「妊娠前」、「今回の妊娠をしてから震災まで」及び「妊娠経過中で震災後」に何らかの病気・状態がありの方(又はあらわれた方)は、震災後、その病気・状態に関するケアは十分に受けられましたか

回答 有効回答数 n=2,614 人(無回答 871 人)

1:受けられたと思う 1,916 人(73.3%)

2:受ける必要がなかった 545 人(20.8%)

3:自分が受診できる状態ではなく、受診が遅れ発見・治療が遅れた 107 人(4.1%)

4:受診可能な医療機関がなく、発見・治療が遅れた 46 人(1.8%)

問 9-1 上記の質問において「3」又は「4」と回答した方は、このことはあなたの妊娠経過や胎児に影響がありましたか

回答 有効回答数 n=153 人

1:あり 37 人(24.2%) 2:なし 52 人(34.0%) 3:わからない 64 人(41.8%)

問 14 震災による影響(母体の栄養摂取不足や物資不足でのミルク入手困難など)でお子さんに十分な栄養を与えられないことがありましたか

回答 有効回答数 n=8,630 人(無回答 570 人)

1:あり 341 人(3.9%) 2:なし 7,594 人(88.0%) 3:わからない 695 人(8.1%)

(2) 予定していた施設での妊婦健診・分娩状況とその他の関連との集計

① 予定していた施設での妊婦健診・分娩状況と予定通りの受診状況との関連

		問 4 予定施設で受診継続しましたか		p= 0.00
		いいえ	はい	
妊婦健診が予定通り受診できましたか	いいえ	763 (35.1%)	892 (13.3%)	
	はい	1,413 (64.9%)	5,815 (86.7%)	
		2,176 (100.0%)	6,707 (100.0%)	(カイ2乗検定)

予定施設で受診継続できなかった群において、予定通りの健診受診できなかった割合が有意に高かった。

② 震災後の妊婦健診の受診状況と妊娠結果との関連

※調査期間内に、2回妊娠した3名を含む(出産と流産ないし死産の重複)

		問 4 予定施設で受診継続しましたか		p= 0.30
		いいえ	はい	
妊娠結果	流産・死産	26 (1.2%)	62 (0.9%)	
	出産	2,153 (98.8%)	6,548 (99.1%)	
		2,179 (100.0%)	6,610 (100.0%)	(カイ2乗検定)

予定施設で受診継続できた群とできなかった群において、流産・死産の割合に有意な差はなかった。

※③以下の分析は、出産のみ 8,940 件を対象とした

③ 震災後の妊婦健診の受診状況と妊娠合併症の悪化の検討

		問 4 予定施設で受診継続しましたか		p=0.01
		いいえ	はい	
妊娠してから震災までに診断された病気は震災後の妊娠経過で悪化をしましたか	あり	86 (19.9%)	140 (14.3%)	
	なし・わからない	347 (80.1%)	840 (85.7%)	
		433 (100.0%)	980 (100.0%)	(カイ2乗検定)

予定施設で受診継続できなかった群において、震災前発症した疾患が悪化した割合が有意に高かった。

④ 震災後の妊婦健診の受診状況と新たな妊娠合併症の出現の検討

		問 4 予定施設で受診継続しましたか		p=0.00
		いいえ	はい	
妊娠中、震災後に新たな病気・状態があらわれましたか	あり	562 (26.5%)	1,036 (15.9%)	
	なし	1,558 (73.5%)	5,463 (84.1%)	
		2,120 (100.0%)	6,499 (100.0%)	(カイ2乗検定)

予定施設で受診継続できなかった群において、震災後新たな疾患が発症した割合が有意に高かった。

⑤ 震災後の妊婦健診の受診状況と新たな妊娠合併症の悪化の検討

		問 4 予定施設で受診継続しましたか		P=0.00
		いいえ	はい	
妊娠中、震災後に新たに診断された病気は、震災後の妊娠経過で悪化しましたか	あり	210 (38.9%)	293 (29.7%)	(カイ2乗検定)
	なし・わからない	330 (61.1%)	695 (70.3%)	
		540 (100.0%)	988 (100.0%)	

予定施設で受診継続できなかった群において、震災後発症した疾患が悪化した割合が有意に高かった。

⑥ 震災後の妊婦健診の受診状況による早産(妊娠週数 37 週未満)の違い

		問 4 予定施設で受診継続しましたか		p=0.00
		いいえ	はい	
妊娠週数	37 週未満	163 (7.6%)	219 (3.4%)	(カイ2乗検定)
	37 週以上	1,981 (92.4%)	6,311 (96.6%)	
		2,144 (100.0%)	6,530 (100.0%)	

予定施設で受診継続できなかった群において、早産の割合が有意に高かった。

⑦ 震災後の妊婦健診の受診状況による帝王切開率への影響

		問 4 予定施設で受診継続しましたか		p= 0.08
		いいえ	はい	
分娩様式	帝王切開	464 (22.2%)	1,299 (20.4%)	(カイ2乗検定)
	自然分娩・吸引分娩	1,622 (77.8%)	5,058 (79.6%)	
		2,086 (100.0%)	6,357 (100.0%)	

予定施設で受診継続できた群とできなかった群において、帝王切開の割合に有意な差はなかった。

⑧ 震災後の妊婦健診の受診状況とうつ傾向との関連

		問 4 予定施設で受診継続しましたか		p=0.00
		いいえ	はい	
うつ2項目「はい」	該当	349 (16.2%)	788 (12.0%)	カイ2乗検定)
	上記以外	1,804 (83.8%)	5,760 (88.0%)	
		2,153 (100.0%)	6,548 (100.0%)	

予定施設で受診継続できなかった群において、うつ傾向の割合は有意に高かった。

(3) 地域差の検討

震災が受診・ケアに及ぼす影響を示す項目についての方部別集計は以下のとおりである。

(方部別回答者数に対する割合：%)

方部	回答者数 (総計に対する割合：%)	問 4 震災後、当初より予定していた施設で妊婦健診・分娩を継続しなかった	問 4 震災後、当初より予定していた施設で妊婦健診・分娩を継続できず、医学的な理由により県内別施設へ移動を指示(または搬送)された	問 5 妊婦健診が予定どおり受診できなかった	問 9 妊娠前あるいは妊娠後から震災までに診断された病気が震災によって、自身が受診できる状態でなく受診が遅れ治療が遅れた	問 9 妊娠前あるいは妊娠後から震災までに診断された病気が震災によって受診可能な医療機関なく発見・治療が遅れた	問 14 震災による影響で子どもに十分な栄養を与えられないことがあった
県北	2,266 (24.6%)	298 (13.2%)	50 (2.2%)	308 (13.6%)	19 (0.8%)	5 (0.2%)	69 (3.0%)
県中	2,832 (30.9%)	638 (22.5%)	123 (4.3%)	456 (16.1%)	25 (0.9%)	15 (0.5%)	91 (3.2%)
県南	620 (6.7%)	95 (15.3%)	17 (2.7%)	87 (14.0%)	13 (2.1%)	1 (0.2%)	21 (3.4%)
会津	942 (10.2%)	102 (10.8%)	37 (3.9%)	55 (5.8%)	7 (0.7%)	0 (0.0%)	17 (1.8%)
南会津	85 (0.9%)	6 (7.1%)	1 (1.2%)	5 (5.9%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	2 (2.4%)
相双	937 (10.2%)	667 (71.2%)	30 (3.2%)	305 (32.6%)	20 (2.1%)	12 (1.3%)	56 (6.0%)
いわき	1,497 (16.3%)	380 (25.4%)	35 (2.3%)	438 (29.3%)	21 (1.4%)	12 (0.8%)	84 (5.6%)
県外	21 (0.2%)	15 (71.4%)	0 (0.0%)	7 (33.3%)	1 (4.8%)	1 (4.8%)	1 (4.8%)
総計	9,200 (100.0%)	2,201	293	1,661	107	46	341

4. 自由記載欄の状況

上記対象者 9,200 人に対する自由記載欄への書き込みは 3,897 件(43.4%)あった。
記載内容をカテゴリ分類した結果は以下のとおりである。

(複数回答あり)

胎児・子どもへの放射線の影響について	1,145
放射線についての情報発信や調査結果の公表への要望について	746
母乳・ミルクへの放射線の影響について	697
情報の信頼性・不足に対する不安や不満	565
家族離散・避難に対する不安や不満	534
離乳食・食物への放射線の影響について	495
水への放射線の影響についての心配	459
母乳検査の要望	439
何らかの放射線の検査や調査を行うことへの要望	434
外出・外遊びでの放射線の心配	396
県民健康管理調査への苦情	388
経済的支援の要望	370
医療サービスの不足への不安や不満	351
内部被ばく(ホールボディカウンタ等)検査の要望	323
物資・ガソリンの支援の要望	301
物資の不足に対する不安や不満	288
除染・遊び場の確保への要望	251
経済的な不安・負担に対するもの	246
健診・検診への要望	233
本人の精神的不調への訴え	225
県民健康管理調査への要望	221
医療サービスの充実や体のケアに対するもの	174
放射線と今回妊娠の転帰との関連への不安	159
外部被ばく(ガラスバッチ配布、線量計配布等)に関すること	126
次回妊娠への放射線の影響への不安について	122
甲状腺検査への要望について	116
この調査への賛同	85
心のケアや相談窓口の充実の要望について	81
避難に対する支援の要望について	78
育児支援サービスの充実の要望について	39
尿検査の要望	17
その他	213